

浜松リサイクル工房

はがき作り編

学校の関連学習単元

小 2 / 生活 うごくうごくわたしのおもちゃ

プログラム 概要

対 象

幼 小1 小2 小3 小4 小5 小6 中学 大人
◎ ◎ ◎ ○ ○ ○ ○

分 野	時 期	時 間	人 数	場 所	講師 / 補助	費 用
廃棄物	通 年	90 分 (2 時限)	35 人 (1 クラス)	家庭科室等	1 人 / 数人	無 料



廃棄物

ねらい

- ・ 飲み終わった牛乳パックからはがきを作ることを通して、牛乳パックの再利用の工程（リサイクル）を知る。
- ・ 牛乳パックが資源物である意識を持ち、分別回収の大切さを知る。

実施内容

- ・ 牛乳パックの再利用についての説明を聞く。
- ・ 牛乳パックからはがきを作る（紙すき体験）。
- ・ 牛乳パック回収の必要性を確認する。

使用する材料・道具

◇受講者が準備するもの ◆講師が準備するもの

◇牛乳パック

◇タオル

◇押し花や押し葉

（はがきにすき込むもの）

◆牛乳パック（煮てやわらかくしておいたもの）

◆紙すき用型枠

◆紙すき用網

◆ミキサー

◆でんぷんのり（洗濯のり）

◆アイロン

講座活用のワンポイントアドバイス

- ・ はがきに押し花などをすき込むと素敵なはがきができます。
- ・ クリスマス会などの行事の際に、家族への招待状として利用してはどうでしょうか。
- ・ 参加人数に応じた人数の補助員を派遣します。
- ・ はがき作りのほかに、リサイクル工作として新聞紙を利用したエコバック作りなどの講座もあります。

実施機関

浜松市環境政策課（浜松市環境学習指導者）

下記連絡先へ実施日の 2 か月前までに申し込んでください。浜松市環境学習指導者を講師として派遣します。実施の決定後、事前打合せが必要なため、講座実施の 2 週間前までに講師へご連絡ください。

問合せ・申込先： 浜松市環境政策課 TEL：053-453-6149 Mail：kankyou@city.hamamatsu.shizuoka.jp
申込方法はホームページをご覧ください。



プログラムの展開例

時間	内 容	指導のポイント
導入 5分	○牛乳パックは資源としてリサイクルできることを伝える ・「牛乳パック何かに使えないかな？」と問いかける。 ・牛乳パックは資源としてリサイクルされて、トイレトペーパーなどに生まれ変われることを紹介する。 ・牛乳パックのリサイクルの実例（紙トレイ、ティッシュペーパーなど）を紹介する 	・普段回収している牛乳パックは、どうなるのか参加者へ投げかけ、意見を出してもらい、いろいろな利用方法があることを気づかせる。 ・家庭で資源回収しているという意見が出たら、集めて何に使うか問いかける。 ・牛乳パック（1ℓ）6枚からトイレトペーパー1個ができる。 ・実際に手作りはがきを見せて、参加者のやる気を引き出す。
作業 75分	○作り方の説明をして、作業をする ① 水で煮て軟らかくしておいた牛乳パック (i) の表面にあるフィルムをはがす (ii)。 ② 紙をちぎって細かくし (iii)、さらにミキサーで碎いて洗濯のりを加えて、パルプ液を作る。（1ℓパック半分、水500ml、洗濯のり10ml） ③ 紙をすく。 ア パルプ液を大きい容器に移す。 イ 紙すき杓でパルプ液をできるだけ均等にすき、ゆすることで厚さを均一にする。（厚さ5mm程度） ④ 紙を乾かす。 ア 紙すき杓を傾けて水を切る。 イ タオルの上に網を敷いておいて、杓を取り外したあと、ひっくり返してのせる。 ウ すいた紙の上に網を載せ、さらにタオルをのせて上から押さえ水を切る。 エ 網から外し、アイロンを使って乾かす。  	・実施時間によっては、(i)～(iii)を用意しておくことで作業を短縮することができる。 (i) 水で軟らかく煮ておいたもの (ii) (i) からフィルムをはがしたもの (iii) 細かくちぎったもの ・故障の原因になるので、ミキサーは連続して動かさずに、断続的に使用する。 ・幼児の場合は、紙をすく作業をサポートする。  ・イラストや押し花などをすきこむときれいに仕上がる。 <安全管理> ・アイロンを使う場所には、必ず補助員をつける。
まとめ 10分	○リサイクルって、何？ ・使い終わったものを材料にして、別のものを作ることをリサイクルという。 ⇒資源の無駄が減る。 ○絵本で牛乳パックの変身(再利用)について振り返る	・資源を無駄にしないために、資源（牛乳パック）回収の大切さを伝える。 ・今回行った作業が、実際のリサイクル工程と同じであることを絵本から学ぶ。

< 参考 > リサイクルに関する本

「ちきゅうのためにやってみよう！」チャイルド本社

